小学校特別支援学級（知的障害）生活単元学習の事例

設定した言語活動を通して育てたい力

○　買い物に必要なお金や買い物の際に伝えなければならないことを自分なりの方法で考え，自分の考えを伝えることができる。

⇨ **思考力，表現力の育成**

□　**学年**　　知的障害特別支援学級　第２学年１名，第４学年１名　　計２名

□　**単元名**　生活単元学習「かいものをしよう」

□　**本時の目標**

Ａ児（言葉を発することが困難な児童）　値段カードと同じ種類のお金を同じ数だけ出すことができる。
絵カードを使って買いものをすることができる。

Ｂ児　何百何十何円のお金を出すことができる。
買いものに必要な会話ができる。

□　**学習の流れ**（３時間目／全６時間）

言語活動の充実

学習活動	指導上の留意事項		評価規準〔観点〕（評価方法）
	Ａ児	Ｂ児	
1　めあてを確認する。 おなじおかねをもって，かいものごっこをしよう（Ａ児） ちょうどのお金をもって，買いものごっこをしよう（Ｂ児）	・前時までの学習を想起させる。 ・本時の学習の流れを提示し，見通しをもたせる。 ・「買いものごっこをしよう」というめあてを示し，興味をもたせる。 ・絵や写真を使い，見て分かるように買うものを提示する。 ・買うものカードの中から，買いたいものを選択する。		
2　お金の出し方を考える。	・硬貨の写真カードを見て，同じお金を出すと買いものができることを知らせる。 ・硬貨の種類を確認させる。	・位ごとに色を変えた用紙を使い，位を意識させる。 ・硬貨と金額を関連させた教具を準備する。	（Ａ児）値段カードと同じ種類のお金を同じ数だけ出すことができる。〔思考〕（行動観察） （Ｂ児）何百何十何円のお金を出すことができる。〔思考〕（行動観察）
3　お金の出し方を発表する。	・自分が操作した具体物を使って説明させる。 ・言語技術を使って発表させる。		
4　買いものの練習をする。	・買いものに必要な言葉や挨拶を「あいさつカード」で，提示する。 ・支払ったお金と値段カードをマッチングさせる。 ・お金を支払って，品物を手にすることで，「買いものができた」という成就感をもたせる。		（Ａ児）カードや身振り等を通して買い物ができる。〔表現〕（行動観察） （Ｂ児）買い物に必要な会話ができる。〔表現〕（発言）
5　本時の活動を振り返る。	・めあてに沿ったまとめを言えるようにさせる。 ・主語と文末を正しく使って発表させるようにする。		

指導のポイント

知的障害がある児童生徒の学習上の特性としては，学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく，実際の生活の場で応用されにくいことや，成功経験が少ないことにより，主体的に活動に取り組む意欲が十分に育っていないことなどが挙げられます。また，実際的な生活経験が不足しがちであることから，実際的･具体的な内容の指導が必要であり，抽象的な内容の指導よりも効果的です。

児童の思考を助けるために具体物を使った操作活動をする

－板書及び言葉による指導－

工夫 ⇨

板書及び言葉による指導に加えて
○　見て分かるように，提示する。
○　操作することができる教材・教具を用意する。

■**個に応じた視覚的支援となる教材・教具**

Ａ児・品物の写真と名前，値段をマッチング。
・硬貨の種類で分ける「コインケース」を活用。

Ｂ児・硬貨の種類と数を示した値段カードを活用。
・「お金変身カード」で両替を理解。

「コインケース」

「お金変身カード」

自分の考えを表現し，行動するための方法を提示する

－言葉かけによる指導－
例：「買いものしたことを発表して」

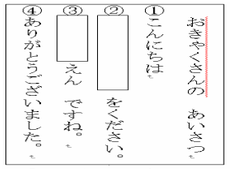
工夫 ⇨

言葉かけによる指導に加えて
○　表現や行動を視覚的に支援する。
○　疑似体験で，支援具を活用し，表現させる。

■**個に応じたカード**

Ａ児・実物の硬貨と値段カードを操作し，言語化。
・写真・絵カードと文字カードをマッチング。

Ｂ児・言語技術の話型を掲示。
・数字等を書き入れさせると，発表原稿となる発表カードの活用。



「あいさつモデル」

■**疑似体験（買いものごっこ）**をする

・「あいさつモデル」を活用して表現。
・「買いもの手順カード」及び「絵カード」の活用。

「絵カード」

かいもののしかた
①かごをとる
②しなものをえらぶ
③かごにいれる
④レジにいって，
　かごをだす
⑤さいふをだして，
　おかねを　しはらう
⑥しなものをもらう
⑦あいさつをする

「買いもの手順カード」

新学習指導要領では

一人一人に応じた指導を充実させることで，「伝え合う力」を重視

○　今回の改訂では，一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育や必要な支援を充実することが示されました。小学部国語科では，**日常生活に必要な国語を理解し，伝え合う力を養うとともに，それらを表現する能力と態度を育てる**という目標が設定されています。

○　本事例では，一人一人の障害の状態等に応じたきめ細かな指導を充実することを重視し，**自分の考えを多様な方法で表現し，伝え合おうとする意欲を育て，友だちとコミュニケーションする意欲及び技能を育てる**ことを目指しています。